

# 伝統の一戦再出発

2高校の  
野球定期戦

村山

村山産業高  
(村山市)と、  
東桜学館高  
(東根市)の第1回野球定期戦が26日、村山産業高グラウンドで行われた。村山市内の2高校による対戦と

4月に開校した東桜学館高

(東根市)の第1回野球定期戦が26日、村山産業高グラウンドで行われた。村山市内の2高校による対戦と

東根工業高と統合して20

14年に村山産業高となり、楯岡高は東桜学館高の母体として

東根市に移転。校名や所在地は変わつたが、野球を通して培った伝統と交流を受け継いでいこうと、あらためて定期戦を始めることにした。

試合は、初回に先制した東桜学館が主導権を

握つた。1点リードの五回に3点を加えて差を広げ、8-3で勝利。東桜学館の小内翔主将(17)は「打線がうまくつながり、勝つことができました。今後の定期戦でも後輩たちにいい試合をしてほしい」、村山産業の青木利来主将(17)は「引き続き定期戦ができるのはいい機会。守備が課題で、夏の県大会に向けてしっかりと取り組みたい」と話していた。



村山産業高と東桜学館高が熱戦を繰り広げた  
第1回野球定期戦

14年に村山産業高となり、楯岡高は東桜学館高の母体として東根市に移転。校名や所在地は変わつたが、野球を通して培った伝統と交流を受け継いでいこうと、あらためて定期戦を始めることにした。

試合は、初回に先制した東桜学館が主導権を

握つた。1点リードの五回に3点を加えて差を広げ、8-3で勝利。東桜学館の小内翔主将(17)は「打線がうまくつながり、勝つことができました。今後の定期戦でも後輩たちにいい試合をしてほしい」、村山産業の青木利来主将(17)は「引き続き定期戦ができるのはいい機会。守備が課題で、夏の県大会に向けてしっかりと取り組みたい」と話していた。